

令和2年12月

第494回 三水会便り

令和3年計画に応募相次ぐ

いずれも意欲的・魅力ある内容だ

師走です。新年を迎え例会・現地集会の計画を立てなければなりません。候補を募集したところ、たくさんの計画が提案されました。いずれも意欲的かつ魅力ある内容です。最終的には12月20日ごろまでにご提出ください。

盛りだくさんの計画は、毎月1回では消化し切れません。どのように活かしていけばいいのでしょうか。提案者に代ってリーダーを務めてくれる、あるいは補佐してくれるかたはいませんか。諸般の情勢を考慮しつつ山行担当の征矢幹事を中心にまとめます。さらに、ご意見をお寄せください。計画案は次の通り。■提案者◇提案内容、カッコ内は実施時期等。

■高橋あかね◇上野原/尾続山, コヤシロ山, 要害山(冬～春, 6km, 高低差 300m, 約 4 時間)◇四方津/御前山(冬～春, 駅前の斜向エレベーターを利用。5.5km 高低差 300m, 約 3 時間)◇三つ峠/倉見山(5 月初旬。近くにクマガイソウの群落。8km, 高低差 650m, 6 時間)◇赤城山/荒山, 鍋割山(初夏のツツジが美しい。1泊2日, タクシー利用 7km, 5 時間)◇八甲田/南八甲田・櫛ヶ峰(6月末～7月初旬, 猿倉温泉泊。23km, 高低差 700m, 13 時間)◇千葉/手賀沼一周(20km, 一度では無理か)◇葛飾/水元公園(都内最大の水郷公園。オニバス自生)■高橋重之◇埼玉行田/さきたま古墳群・忍城址◇都内富士塚めぐり■三井賢治◇北ア/西穂独標・焼岳・上高地(9/1-3, 終了後「あんころ餅」に合流)◇立山(1泊2日, 室堂～劔御前小屋～別山～雄山～室堂)◇塩の道/白馬～南小谷～糸魚川(10/30-31)◇甲州街道/笹子峠越え(12km 高低差 500m, 5 時間)■橋本雅子◇西上州(11/14-15 不二野家泊) <以下 2020 年に予定し中止した計画> ■遠藤源太・北口マリ子◇葛城山・金剛山～堺泊(4 月, 2 泊 3 日, 百舌鳥古市古墳群)■増田達治◇信州トレイル(5 月, 1 泊 2 日, ブナとミズナラの袴岳と小布施)■高橋満男/旧甲州街道(6 月, 高尾から小仏峠を経て相模湖まで)■征矢三樹/上州トレイル(7 月, 2 泊 3 日, 谷川岳肩の小屋, 平標山の家)

12月の現地集会

■12/21(月) 地図作成の原点/鳶尾山を訪ねる

1等三角点だけあって展望は素晴らしい

日本の地図作成の原点を訪ねることにした。1882(明治15)年, 明治国家は全国的な地図づくりを始め, 相模原に三角測量のための基線を設けた。北側は下溝村に, 南は座間村に杭を打ち, この間を相模野基線とした。基線を底辺とし三角形をつくった。西は鳶尾山, 東は長津田村の高尾山の頂上に石を置いた。1等三角点だ。次に鳶尾山と高尾山を結んだ線を底辺にして三角形をつくっていく。

さすがに展望の素晴らしい山だ。東京, 横浜, 湘南台, 丹沢大山と見渡せる。歩程 3 時間半+バス往復 1 時間, 距離 7.5km, 標高差 130m。参加希望者は12月14日までに征矢宛ご連絡ください。

日時/12月21日(月)◇集合/小田急線本厚木駅北口バス乗り場 9 時 30 分, 解散/本厚木駅 15 時予定◇行程/本厚木(バス)鳶尾山前→天覧台公園→金毘羅神社→鳶尾山→鳶尾峠→憩いの森青空館→八菅神社→展望台→クラブハウス→上荻野(バス)本厚木駅◇連絡先/soyamiki@td5.so-net.ne.jp 携帯 080-3558-3250 fax 03-6886-4392



1月の例会

■1/20 1:30～ 大塚幸美/JAC ホームページの変身進める

同時にシュラーギントワイト全作品を鑑賞

市ヶ谷の集会室にドイツの科学者、シュラーギントワイトの絵が壁にかかっている。ヒマラヤの高峰を描いたものだ。絵をみるとなぜか心が和むから不思議だ。それが日本山岳会のホームページに閲覧できるようになった。日本山岳会創立 130 年記念事業として、機関誌「山岳」、会報「山」が創刊号から収録されることを知って驚いたが、またまた嬉しくなった。機関誌「山岳」、会報「山」の収録の話は、事業を推進しているデジタル委員会の大塚幸美委員長に話していただくが、同時にシュラーギントワイトについてふれたい。



シュラーギントワイトは、イギリス東インド会社などの依頼で 1854～57 年、カラコルム山脈、崑崙山脈、チベットを探検。調査報告の付録の大図録集『アトラス』は 1861 年に出版された。色彩の美しいパノラマ、風景、地図など全部で 44 葉(46 図)が入っている。ヒマラヤ研究者で日本山岳会会員の薬師義美さんは、『アトラス』を拝見したのは 1966 年、深田久弥さんの「九山山房」だった。私の知る限りでは、国内にあるシュラーギントワイトのテキストと『アトラス』のセットは国会図書館(深田本)、東洋文庫(モリソン文庫)、京都大学、日本山岳会の松崎中正さん寄贈のセットなどの 6 点である。これらの中で本会所蔵の『アトラス』は色彩も鮮やかで、経年劣化もあまり感じられず、もっとも状態がよいと見ている。

1月の現地集会

■ 1/12(火) 鶴岡八幡宮と衣張山・名越切通し <雨天中止>

集合/JR鎌倉駅東口改札前(進行左側)9:30◇予定コース/鎌倉駅東口→鶴岡八幡宮→金沢街道大御堂橋→田楽辻子のみち四つ角→山道入口→衣張山→浅間山ハイランド住宅地(緑地公園)→お猿畠の大切岸→名越切通→横須賀線踏切→長勝寺バス停(バス約 8 分)鎌倉駅◇徒歩/約3時間◇幹事/増田達治 田中恵美子◇当初の参加希望者には改めて案内します。追加で参加を希望される方は 12 月 10 までに連絡ください。参加連絡/増田 0466-25-5599, 090-2462-7916(SMS 可), Email/tatsujima3541@aroma.ocn.ne.jp

◇三水会当面の予定

実施	例会	現地集会
12 月	忘年会/中止	12/21 厚木鳶尾山 担当/征矢
1 月	1/20 大塚幸美/ホームページ大変身	1/12 新年会/鎌倉 担当増田・田中
2 月	2/17 石塚嘉一/昆虫網を担いで 60 年	

11月の報告

■例会 19 日, 川俣俊一/南米パタゴニア紀行 15 日間の旅 氷河・冰山 強風吹きすさぶ地の果ての旅

1995 年 2 月だった。日本からニューヨーク経由でブエノスアイレス(アルゼンチン)へ。バスに乗り換えアンデスを越えた。サンティアゴ(チリ)から、ひたすら太平洋側を南下して、南極に一番近いブントアレナスでマゼラン海峡をのぞむ。太平洋側から帰国した。

最初はアルゼンチンのメンドーサ(PLAZA HOTEL)泊。アンデス山脈を仰ぎ見ながら、ペルーのインカの湖を観光、温泉に入る。チリの都市であるプンタアレナスでチリーの国木であるアラウカリア(ナンヨウスギ)を見る。プンタアレナスの北、チリのパタゴニアにあるパイネグラデ(トレース・デル・パイネ国立公園)の山肌は、サンゴでできている石灰岩が中腹にあり、黒色の岩に挟まれている。この石灰岩の時代は熱帯気候だったと思われる。アルゼンチン



のバルデス半島は大西洋に面して、ユネスコの世界遺産に登録されている。ここではマゼランペンギンのコロニーが見られる。強風と荒涼とした山や氷河の旅だったが、最後は穏やかな街並みのアルゼンチンのカラファテでパタゴニア名物「コルデーロ・パタゴニコ」という子羊の丸焼きの香ばしい香りにそそられた。カラファテは氷河国立公園の玄関口になっていて、高さ140mの氷河を船で巡る。パタゴニアのいわれは「パタゴン」という怪物から来ているようだ。

参加14人/大野力彌, 川嶋新太郎, 北口マリ子, 小泉義彦, 高橋あかね, 高橋郁子, 高橋重之, 田中恵美子, 中村直樹, 平井拓雄, 平野幹雄, 三井賢治, 望月公子(記録北口)

■現地集会 11/29 相模湾に突き出た三浦半島の最先端 三崎口/荒崎から長浜海岸 5km を歩く

磯の岩礁は、想像に絶する長い時間をかけての地殻変動の結果、縦になったり横になってして縞模様を描いていた。京急三崎口駅からバスで30分ほど。相模湾に突き出た三浦半島の最先端となる荒崎公園から歩いた。公園には夕日の丘、ピクニックの丘、潮風の丘などと名付けられた展望台があった。相模湾が一望に見渡せる。西の方向から南の方へ、鎌倉、小田原、丹沢・大山、熱海、天城山…。富士が霞んで見えなかったのは残念だった。伊豆大島が近い。海は穏やかだ。ヨットがたくさん出て、カヌーが集団で走っていた。鳶が輪を描いている。青空が広がってきた。



岩礁を縫うように小道が続いている。周囲に種々の海浜植物が覆っている。そのなかに、小さな果実が一斉に割れて、それぞれに赤い実をのぞかせている樹があった。トベラというそうだ。粘っこい汁で実は殻にくっついている。イソギク、また足元にツワブキの黄色い花が盛りだった。岩礁をつたって歩くのに神経を使う。登ったり下ったり。

浜に出た。長浜海岸とある。乾いた砂に足をとられるよりも波打ち際のほうが歩きやすいのだが、波が元気づいてきた。ときどき大きなのがくる。上げ潮だ。終わると円徳寺。開祖は日範上人。日蓮

上人が伊豆に流されたときに、ここの洞窟に居を構え、伊豆を遠望したという。門前の六地藏がみんなそろってマスクをつけていた。集落のなかで大根の出荷作業場に出合った。9月に種をまき11～3月に収穫するそうだ。1本200円で買い求め、ぶら下げてバス停に向かった。解散後、希望者が三浦海岸駅で下車、駅前の居酒屋でマグロ三昧をした

◇コース/京急三崎口駅 10:02→(バス)→10:30 荒崎→荒崎公園→夕日の丘展望台(10:40～10:50)展望台→城山展望台(11:10～11:20)→黒谷浜漁港/お昼(12:00～12:40)→佃嵐崎/休憩(13:10～13:30)→長浜海岸歩き→円徳寺→矢作バス停 14:22→(バス)→三崎口駅 14:30 解散◇参加者 10人/金谷修文, 北口マリ子, 高橋郁子, 高橋重之, 田中恵美子, 三関清, 三井賢治, 望月公子, 吉田正隆(幹事), 辻橋明子(ビジター) (文/高橋重)

三水会便り 第494回 発行2020年12月1日
東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会三水会
便り担当 北口マリ子, 山口延子, 文責/高橋重之